

第19回女性起業家大賞・グロース部門特別賞

現代アートの面白さを、垣根を取り払い、 たくさんの人に届けたい

カナカワニシアートオフィス合同会社
代表社員 **河西 香奈**（かわにし・かな）



アート業界の入り口を 開放的に入りやすく

造形や行為によって未踏の表現を深耕し、新たな世界の視座を提示するアーティストたちの仕事の結晶である現代アート作品は、知的好奇心を刺激し続ける唯一無二のもので。しかし彼らを包括するアート業界は閉鎖的で、「よく分からないもの」としてくくられてしまったり、ギャラリーも「足を踏み入れがたい場」と思われてしまったりしがちです。

目の前にある才能が、世の中とつながっていないのはもったいない。この垣根を取り払い、面白がられるのを待っている作品を、世界中の業界内外の人々に届けたい。これが創業に至った強い動機であり、創業以降の7年間で増強され続けてきた経営理念です。

当社が運営する東京の清澄白河にある本店（アートギャラリー）は、認可保育園のはす向かいに位置する路面店で、ガラス張りの外観と大きな開口部を生かし、業界内外の方々を広くお迎えしています。老若男女問わず、ギャラリーに立ち寄った人には「丁寧に作品の説明をすること」を全スタッフが徹底しています。

夕方、保育園のお迎えの時間帯には、まるでギャラリーが保育施設になったように、アートを楽しむ親子でいっぱいになることもあります。

「アートの力」が 人の意識を動かす

昨年のコロナ禍初頭、追加融資面談のため、金融機関の担当者の男性と一年ぶりに再会しました。彼いわく、一年前にギャラリーに来たとき、私に「分からなければ、分からないままでもいいし、面白いと感じられたら、そのまま素直に面白がればいい」と言われた言葉がとても響いたそうです。それ以来、苦手意識や肩の力が抜けてアート自体に興味湧き、ほかのギャラリーにも行って作品購入も検討し始めているとのことでした。

追加融資の相談時、新店舗の改装に伴い額面上の数字は落ちていました。しかし「地域からギャラリーを消してはいけない」と強い使命感を感じていただき、追加融資が実現しました。他業種の人に「アートの力」が響いたことが、何よりもうれしく感じました。

また、創業時から育ててきたアーティスト・安瀬英雄さんの作品が、「PHOTO LONDON（フォト・ロンドン）」というアートフェアに出展したことをきっかけに、大英博物館の学芸員の目に留まりました。その後、「縄文時代から現代ま

で」をテーマに大英博物館・日本館で企画された常設展のラストに、安瀬さんの作品が「現在の日本」を象徴する作品として公開されると、「コンセプトに感銘を受けた」と米国在住の人から新規購入の相談をいただきました。まさに当社の理念が結実した瞬間でした。今後も地域の人たちに面白がってもらえるように、そして世界中の美術館に収蔵いただけるように、全力でまい進してまいります。



安瀬英雄さんの個展を開催したときの展示風景

会社データ

社名 カナカワニシアート
オフィス合同会社
所在地 東京都江東区白河4-7-6
電話 03-5843-9128
創業 2014年
事業概要 アートギャラリー経営、
アート関連書籍編集・卸・
出版、アート関連通訳・
翻訳など

HPIはこちら

